

授業開始日延長に伴う在宅学修への取り組み方と
学修内容指示

人間生活学科

2020.4.15

人間生活学科

「授業開始日延長に伴う在宅学修への取り組み方と学修内容指示」

人間生活学科では、この度の授業開始日延長に伴う在宅学修への取り組み方と学修指示を以下の通りと致したいと思います。

1. 学年ならびにコース毎の課題を設定し、提出された課題について評価する。
2. 5月11日までの期間を有効に在宅学修できるように、学科、コースの特性に応じた課題とボリュームを設定し、質問等はWEBにて対応することとする。

【各学年への指示】

1年生：全員に対し、課題図書3種類を設定し、レポートを提出させる。

①家政学を学ぶにあたり、高校で使用した「家庭基礎」や「家庭総合」の教科書及び図説資料集を参考に「衣」「食」「住」「家族」「子育て」の中から関心のある分野を選んで、テーマを設定し、現代社会における状況と課題について、自分の視点でA4用紙2枚程度にまとめること。自分の感想や考えも添えること。(様式、字数は自由とする。)

②『自然と社会と心の人間学』(佐藤真弓・斎藤美重子編著 一芸社 2020年2月発行)の第1章「生きる」とはどういうことだろう。第1節生活とは? 第2節生活を創造するとは?(p.5~p.17)を印刷して、要約し、最後に感想を書くこと。

③「大学の学び入門」に関する課題

『アカデミック・スキルズー大学生のための知的技法入門 第2版』佐藤望編著 慶應義塾大学出版会 2012年発行「第1章アカデミック・スキルズとは」(12~30頁)、「第2章講義を聴いてノートをとる」(31~44頁)を印刷して配布する。

課題図書内にあるテストに答えるかたちで、添付のワークシートを完成させる。

生活総合コース

- ①作文：「私と家族」というテーマで、自分と家族を見つめ、800字程度でまとめ提出する。

福祉コース

- ①自分が目指す福祉の専門職としての将来像(大学卒業後になりたい姿)について、論じなさい。

例：自分が関わりたい仕事、関心のある社会的テーマ、キャリアプランなど。

レポートの形式は、別紙参照のこと。タイトルは各自で決めこと。文言の書き出しなどを真似する必要はありませんので、自由に書いて良い。

(A4用紙、横書き、1000文字程度)

建築デザインコース

- ①建築における生活者視点について、貴方の経験に基づいた考えを述べなさい(1200字程度)